

令和 8（2026）年度

学習院大学大学院 博士後期課程

人文科学研究科・心理学専攻

入学試験問題

9：00～10：00 心理学

10：20～12：20 英語原書読解

2026 年度 学習院大学大学院 人文科学研究科 春期入学試験

※太線わく内は必ず記入してください。

志望研究科	人文科学研究科 博士後期課程	志望専攻	心理学専攻	受験番号		カナ	
						氏 名	
試験科目	心理学 【試験時間】 9:00～10:00	備考	問題用紙 (1) 枚中 (1) 枚目	採点欄			

問 題

個人間変動（between-person variability）に基づく相関的研究と個人内変動（within-person variability）に基づく相関的研究について、あなたの研究テーマを具体例に挙げながら説明しなさい。そのうえで、それぞれのタイプの研究で得られた知見を混同することがもたらす問題について論じなさい。解答は解答用紙 1 枚以内にまとめなさい。

※太線わく内は必ず記入してください。

This image shows a single page of white paper with horizontal ruling lines. The lines are evenly spaced and run across the width of the page. There are no margins, text, or other markings on the paper.

◆出題の意図

心理学では、個々人から得られた測定値の個人間変動に基づいて、変数間の関連を検討するというタイプの研究が多く行われている。その中で、個人間変動に基づく関連を特定の個人内の心理に適用して解釈してしまうという研究実践上の誤りが、心理学研究の問題として取り上げられることも多い。心理学の実証研究を行ううえで、2つの関連の違いを理解し、研究目的に応じて使い分けることは重要である。本設問では、個人間変動に基づく相関的研究と個人内変動に基づく相関的研究について、研究目的、研究仮説、研究デザインなどの違いを具体的に説明できるか、また、両者を混同することがもたらす問題を適切に理解できているかを問うた。

◆解答又は解答例

この問いは、一義的な解答例が示せないため、公表していません。